

一宮賀茂神社
拝殿・幣殿改修ご提案書
(屋根葺き替え 他)



令和3年12月

伝匠舎 (株)石川工務所

■ 一宮賀茂神社 拝殿・幣殿 建物概要

拝殿建立年代：文久三年（西暦1863年） 築158年

木造伝統構法平屋建て / 正面3間×側面3間 正面流れ向拝 背面下屋付き / 茅葺き屋根

昭和53年に拝殿の茅葺き屋根をトタン葺きで覆う工事を行う。（43年前）

幣殿：昭和30年1月 改築

拝殿床面積：21.21坪 ・ 幣殿床面積：4.6坪

■ 改修・修理目的

拝殿は建立後幾多の修理を得ながら永年の風雪に耐えて今日まで護持されてきたものの、近年屋根トタンの劣化が進行し雨漏りも生じております。

このまま放置することは賢明ではありませんので、屋根葺き替え改修をご提案いたします。

1. 各所現況写真



① 拝殿左脇間の厨子の置かれた棚の背面 雨漏りを確認



② 同左部 雨漏りにより中段床板（合板）が腐朽・変形



③ 小屋裏にて雨漏り状況を確認



④ 雨漏り箇所下部の桁の腐朽状況を確認



⑤ 拝殿と幣殿屋根の取り合い部：雨漏り箇所



⑥ 屋根トタン全体に不陸があり、一部浮いている箇所を確認



⑦ 屋根トタン全体で塗膜が劣化し、笠釘の錆、浮きも確認



⑧ 幣殿の雨といが脱落している。



⑨ 大屋根の軒付け全体に錆が見られる。



⑩ 雨天時に軒付けに雨水が浸透していることを確認。



⑪ 拝殿背部雨落部 水はけが悪く、土台・柱脚に悪影響が出ている。



⑫ 拝殿は外縁・室内共に天井が張られていない。

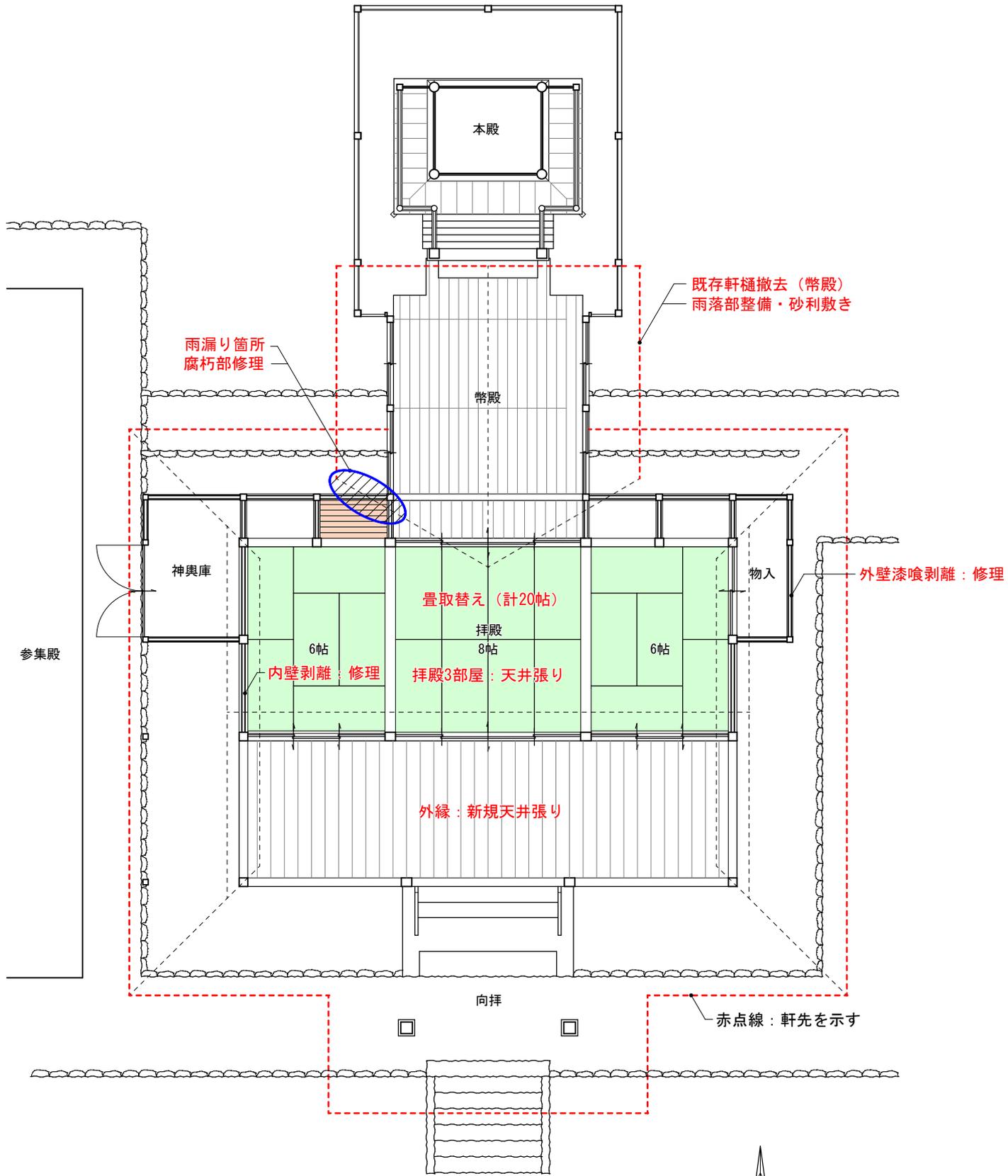


⑬ 北側壁 漆喰の脱落

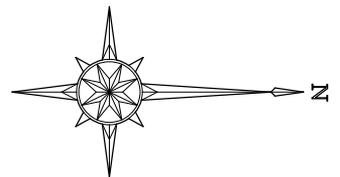


⑭ 左脇間 参集殿側内壁の剥離

2. 屋根改修計画図

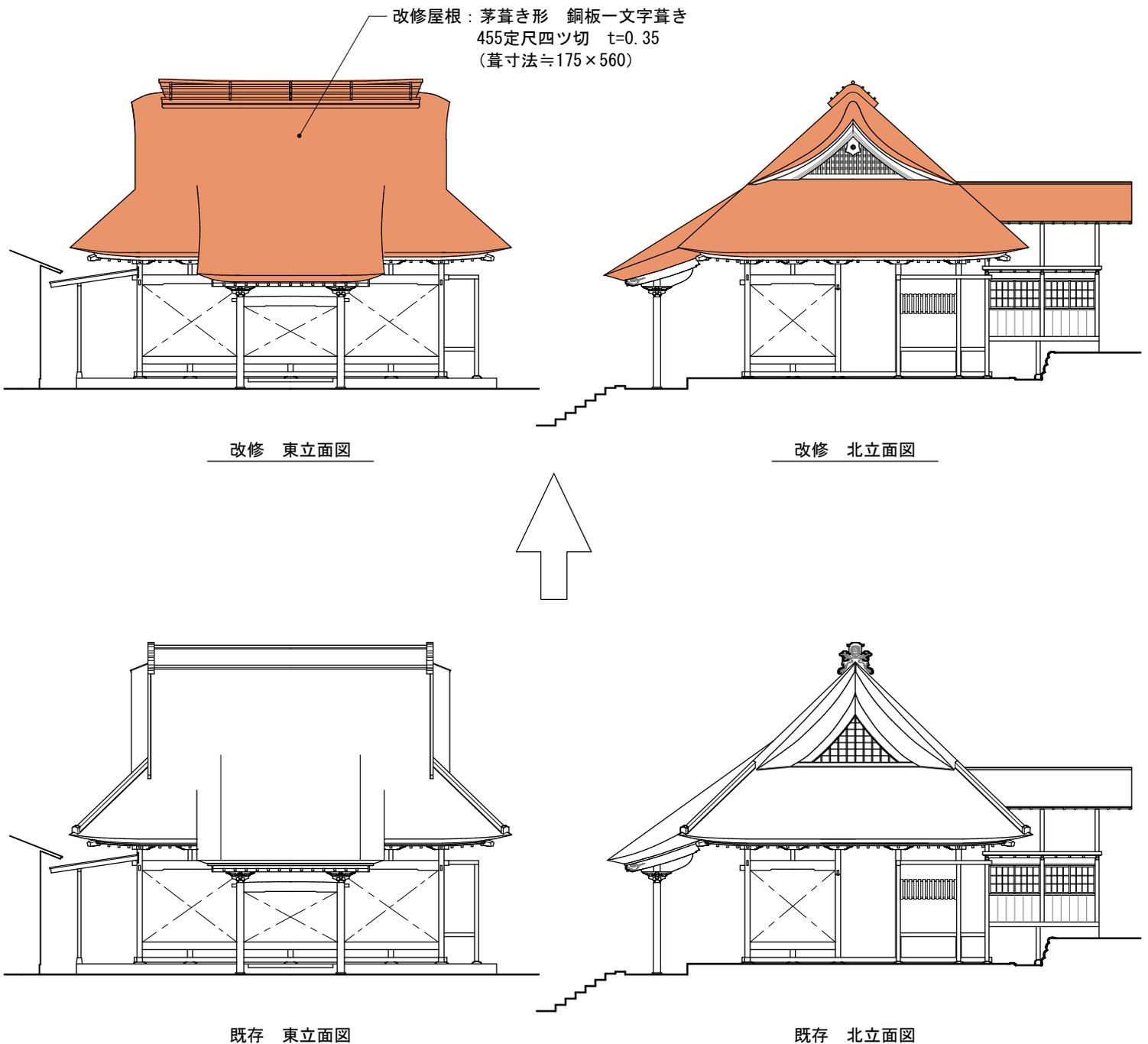


既存 社殿平面図



■ 改修工事概要

1. 屋根改修 拝殿・幣殿の屋根トタン・茅葺きを全面撤去し、新たに屋根下地を成型し（茅葺き型）、銅板で屋根を葺く。
2. 両妻壁は木連格子に復元する。
3. 雨漏りにより腐朽した部位の修理を行う。（左脇間背面下屋の桁の取替え、中段棚板の張替え等）
4. 拝殿に新たに天井を張る（外縁・拝殿室内3部屋）
5. 左脇間正面側建具1箇所（腰壁板1枚）が破損しているのを、修理を行う。
6. 上記3に伴う壁修理のほかに、左脇間室内壁1枚と、北側外部壁板1枚の脱落壁修理を行う。
7. 拝殿の畳、合計20帖を取り替える。
8. 幣殿の既存雨といは撤去し、雨落部に砂利を敷き排水の整備を行う。
9. 拝殿の新規天井張りに伴い、既存照明を撤去後、全てLED照明に取り替える。（合計5台）
10. 拝殿の新規天井張りに伴い、自動火災報知設備の改修を行う。
11. 工事期間：約8カ月間（外部工事が主体なので、雨・雪の状況で変動します）
12. 工事費：税込 ¥29,570,000-



3. 屋根改修工事の事例

類似工事の各段階写真にて、屋根葺き替え工事の流れをご説明いたします。



1. 着工前全景



2. 屋根トタン撤去作業状況



3. 屋根トタン撤去後全景（茅屋根の状態）



4. 屋根茅撤去作業状況



5. 屋根茅撤去完了（小屋組残し）



6. ブルーシートによる屋根雨養生状況



7. 軒天井板の部分張替え状況



8. 屋根下地 木工事作業状況



9. 屋根下地 木工事作業状況



10. 軒廻り・野垂木納まり状況



11. 屋根下地野地板張り状況



12. 屋根下地防水シート張り・銅板張り施工状況



13. 銅板一文字葺き詳細 (葺寸法≒175×560)



14. 軒付け銅板張り状況



15. 屋根銅板葺き完了

伝匠舎 (株)石川工務所

山梨県甲州市塩山上於曾1990

TEL 0553-32-2170

FAX 0553-32-2171

URL <http://www.densho-sha.co.jp>